

利尻富士町地球温暖化対策実行計画（素案）＜事務事業編＞＜区域施策編＞ 意見公募（パブリックコメント）の結果

案件	利尻富士町地球温暖化対策実行計画（素案）＜事務事業編＞＜区域施策編＞		
目的	<p>利尻富士町は、2023（令和5）年3月に利尻町・礼文町との3町により「ゼロカーボンシティ宣言」を共同宣言し、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指して、脱炭素社会の実現に向け主体的に取り組んでいくこととしております。</p> <p>これに合わせ、その主体的な取り組みを具体化するため、地域の自然的・社会的条件に応じて温室効果ガスの排出抑制等を推進するための総合的な計画である『利尻富士町地球温暖化対策実行計画』を策定し、「温室効果ガス排出削減量」等の目標を町民のみなさまへお示ししたいと準備を進めているところですが、このたび計画の素案がまとまったことから、町民等の皆様から意見を公募しました。</p>		
公募期間	令和6年4月3日（水）～令和6年4月17日（水）		
意見提出の対象者	町内に住所を有する者、町内に事務所または事業所を有する個人もしくは法人その他団体、町内の事務所または事業所に勤務する者、本町に対し納税義務を有する者、「利尻富士町地球温暖化対策実行計画」内の施策に利害関係を有する者		
意見の提出者・意見数	1名・1件		
意見の取扱い	ア 修正	案を修正するもの	0件
	イ 記載済	既に案に盛り込んでいるもの（事業実施にあたり参考とするもの含む）	0件
	ウ 参考	案には反映できないが今後の参考とするもの	1件
	エ その他	案には直接的に関係ない内容であるが意見として伺ったもの	0件

番号	ページ	取扱い	見出し等	意見等（要旨）	町の考え方・対応等	修正有無
		ウ	全体を通してのご意見	<p>2050年カーボンニュートラルに向けて、政府の方針にしたがって実施される計画だと思いますが、あまり振りまわされることなく計画案を現実的に組む必要があると思います。</p> <p>理由1、利尻町、利尻富士町、礼文町が2050年まで単独自治体としていられるかという点の方が大きいと思うからです。</p> <p>それぞれの予想人口は今の半分程度、TOTALでも5,000人にも満たない、そのため財務は減少するので新規事業は国庫予算をあてにしても難しいと思われます。</p> <p>一方、人口減少によって自然にCO2の減少がなされるため、目標の達成は可能と考えられます。</p> <p>逆に、この3町の最大の利点はまわりを海に囲まれているので、現在釧路などで行われているブルーカーボン（コンブなどの養殖によるCO2の吸収）によるCO2の吸収率を換算することで、むしろ50%以上の吸収が可能となるとともに、その余った分を企業等に販売（施設等の設備や人件費を補助してもらうことで企業のカーボンニュートラルの目標値を達成することが可能になる）することで、地域の活性化が可能になると思います。</p> <p>このことから、悲観的にこの事業に取り組まず、むしろ積極的に研究することが町の生き残りに大切だと思われる。</p>	<p>○個別の項目に対するご意見ではなく、町に対する全体的な考え方へのアドバイスと受け取らせていただき、今後の参考とさせていただきたいと思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区域施策編 35Pにおいて、何も対策を打たない場合の2030年の温室効果ガス排出量は50,689t-CO2/年であり、目標の△46%を達成できない予測となっております。 ・区域施策編 13Pでは、住民アンケートにおいてブルーカーボンの取組は改善すべき取組と位置付けられており、事務事業 16P、区域施策編 5P、同 38P、同 39P、同 47P、同 48Pにおいて取組について記載しております。 <p>ブルーカーボンは町においても重点的に取り組む事項で既に関係機関と連携し着手しております。</p>	無

			<p>リサイクル事業については、ペットボトルを回収するエネルギーと再生するためのエネルギーにより CO2 の排出を増やしている。</p> <p>新しくペットボトルを作る方が CO2 の排出が少なくなる。</p> <p>あとは各家庭への啓発活動で十分では？</p>	<p>・全ての重点プロジェクトにおいて、町民に頑張っていたきたい事項を記載しており、町としても今後啓発活動に力を入れてまいります。</p>	
--	--	--	---	---	--